※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学演習ＩＡ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ベーシックスタイル　数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ・Ｃ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

演習問題の解法を丸覚えするのではなく、体系的に理解するとによって応用力を身に着けるようにしましょう。また、演習問題では複雑な計算も増えるので、授業中は黒板を写すだけでなく必ず自分でも計算するようにし計算力を高めるようにしていきましょう。

2　学習の到達目標

入試問題を解くための基礎的な知識や技能を習得し、事象を数学的に考察する能力を培い、それらを活用する態度を身につけることを目標とする。

⑴　数学Ⅰ、数学Aの分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

⑵　数学的な事象を論理的に考察し、それを的確に表現する力を養う。また、その特徴を数学的に考察する力や問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

⑶　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ、数学Aの分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学的な事象を論理的に考察し、それを的確に表現する力をつける。また、その特徴を数学的に考察する力や問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	入試問題演習	1. 数と式 2. 2 次関数 3. 図形と計量	共通因数をくくり出して因数分解ができる。 根号を含む式の加法，減法，乗法，除法の計算ができる。また，展開の公式を利用して根号を含む式の乗法の計算ができる。 2 次関数の最大値，最小値はグラフを用いて考察できることを理解している。 余弦定理を用いて，三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。	定期考査 確認テスト 提出用ﾉｰﾄ	定期考査 確認テスト レポート	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸの観察 課題ﾚﾎﾟｰﾄ
2学期	入試問題演習	4. データの分析 5. 場合の数と確率 6. 図形の性質	箱ひげ図をかくことができる。 相関関係と因果関係の違いを理解している。 順列や組合せの総数を利用して，確率を求めることができる。 三角形の重心について理解し，線分の比や長さ，面積比などを求めることができる。	定期考査 確認テスト 提出用ﾉｰﾄ	定期考査 確認テスト レポート	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸの観察 課題ﾚﾎﾟｰﾄ
3学期	入試問題演習	7. 整数の性質	素因数分解を利用して，自然数の正の約数やその個数を求めることができる。 互除法を用いて，1 次不定方程式の解を1つ求めることができる。	定期考査 確認テスト 提出用ﾉｰﾄ	定期考査 確認テスト レポート	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸの観察 課題ﾚﾎﾟｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度